「FieldDiff」
利用マニュアル

バリュー・プラス株式会社

2023年11月更新

～目次（スライドページ数）～

①アプリケーション概要
４：Field Diffについて

②設定方法
６：環境共通設定について
７：環境共通設定①（項目セット名）
８：環境共通設定②（レコード選択上限数）
９：ガイドページからの設定
１０：環境共通設定③（権限セット）
１１：オブジェクト共通設定について
１２：オブジェクト共通設定①（項目セット）
１３：オブジェクト共通設定②（エントリーページ）
１４：Visualforceページ サンプルコード(copy&paste用)
１５：オブジェクト共通設定③（リストビューボタン設定）
１６：オブジェクト共通設定④（レイアウト追加）

③利用方法（サンプルDEMO）
１８：サンプルDEMO：レコード選択
１９：サンプルDEMO：項目比較

①アプリケーション概要

FieldDiffについて

アプリケーション概要

データレコード間、項目間の差異を検知するアプリケーション、エクスポートせずに手軽に文字列比較ができます。
プロファイルごとに表示させる項目を設定することができ、項目レベルセキュリティにも対応しています。

- 100%ネイティブアプリケーション
- ロングテキストエリアなど含めてほぼ全データ型対応
- Lightning、Classic対応
- 項目アクセス権設定準拠
- 比較対象項目をプロファイル単位指定可能
- 多言語対応（日本語、英語）

設定方法

別ページ参照。

仕様

- 標準リストビュー画面にて比較対象レコードを選択できる
- 選択されたレコードは、作成日順に沿って一覧画面に表示する
- 文字列が長いデータ項目は比較基準（左側領域）に設定される
- 選択解除せず連続して次の比較項目選択が出来る
- 現在ユーザはアクセス権が無い項目の場合エラーメッセージが表示される

②設定方法

環境共通設定について

Field Diffを使用（リストビュー画面に設定）するために、下記設定を実施してください。
※詳細の設定は、次のページ以降参照

■共通設定

・カスタム設定(階層型)を設定する。

1．項目セット名を定義（FC_FieldSet）

各プロファイルで使用する項目セット名を定義する。
・組織のデフォルトに、デフォルトの項目セット名を設定する。
デフォルト項目セット名：Default_FieldSet
・必要に応じてプロファイルごとに項目セット名を設定でき
各プロファイルにつき、 1 種類

2．レコード選択上限数設定（FC_SelectRecord）

標準リストビュー
・組織のデフォルトに、リストビューでレコード選択上限数を設定する。
整数値で入力。

・権限セット（FC_ComparePermissionSet）を設定する。(最後に設定)

・使用ユーザに権限セットを割り当てる。

項目比較する項目セットを定義

レコードの選択上限数を定義

ユーザにアクセス権を付与

設定方法（環境共通設定①）

プロファイルごとに使用する項目セット名を定義するために、
カスタム設定で項目セット名を設定してください。

・カスタム設定を定義します。
1．項目セットを定義します。

【手順】

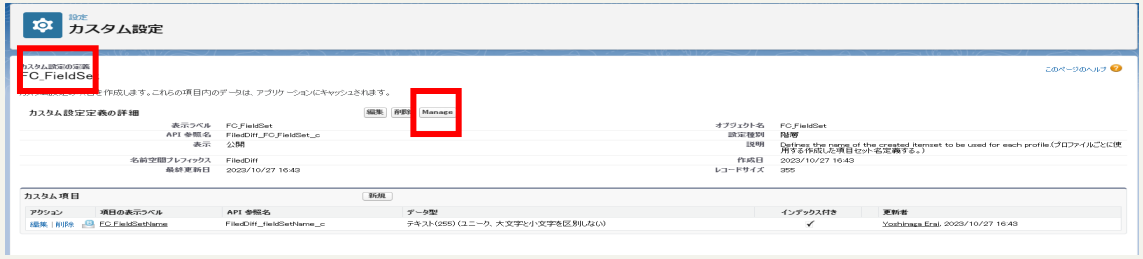
[設定] -> [カスタムコード] -> [カスタム設定]

▼

カスタム設定「**FC_FieldSet**」
-> Manegeボタン押下

デフォルトの名称は
Default_FieldSet
で固定

・デフォルト組織レベルの値を ‘Default_FieldSet’ で設定する。
(デフォルト値定義= Default_FieldSet)
・必要に応じてプロファイルに対応する項目セット名を設定する。
(各プロファイルごとに１種類固定で定義)
・カスタム設定は「階層型」を使用する。



設定方法（環境共通設定②）

リストビューで選択できるレコード上限数を適用する為に下記手順を実施してください。

2. レコード選択上限数を定義します。

【手順】

[設定] -> [カスタムコード] -> [カスタム設定]

▼

カスタム設定「**FC_SelectRecord**」
-> Manegeボタン押下

・デフォルト組織レベルの値を数値型整数(2以上)で設定する。
(デフォルト値定義=5)



設定方法（ガイドページからの設定）

ガイドページの下部より、カスタム設定を簡易登録可能です。

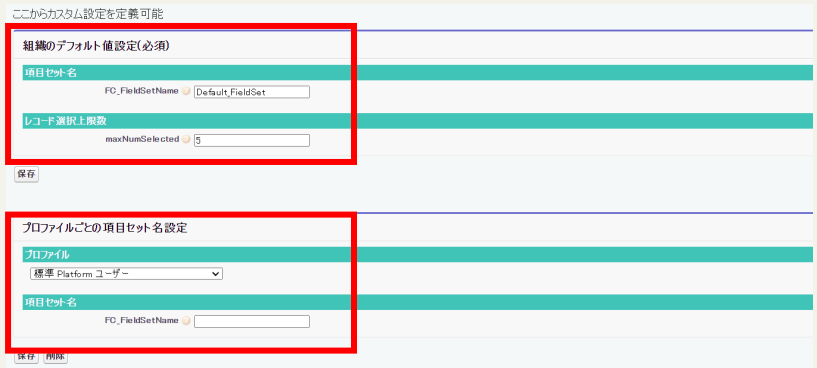
1．組織のデフォルト設定

・項目セット名
・レコード選択上限数
ともにデフォルト値が定義されているので、[保存]ボタン押下で登録可能。

2．プロファイルごとの項目セット名設定

・プロファイルを選択リストより選択
->現在登録されている項目セット名が表示される（ない場合空白）

[保存]ボタン：更新・保存
[削除]ボタン：項目セット名クリア



設定方法（環境共通設定③）

権限セットを追加して、Field Diffへのアクセス権をユーザへ付与する。

1．権限セット(FC_ComparePermissionSet)をユーザに割り当てる。

管理パッケージ含まれているメタデータのアクセス権をユーザに付与する。
(Apexクラス、Visualforceページ、Visualforceコンポーネント、カスタム設定など)

オブジェクト共通設定について

Field Diffを使用（リストビュー画面に設定）するために、下記設定を実施してください。
※詳細の設定は、次のページ以降参照

■オブジェクト共通設定（各オブジェクトごとの設定）
・リストビューボタンを設定する。

・項目セットを作成
　・デフォルト項目セット名：Default_FieldSet
　・プロファイルごとの項目セット名：(カスタム設定で設定した名前)
　※プロファイルごとの項目セット未作成の場合、デフォルト適用
・エントリーページ(Visualforce)の作成
・リストビューボタン(カスタム)の作成

リストビューから遷移するVisualforceボタンを作成

設定方法（オブジェクト共通設定①）

使用したい各オブジェクトごとの標準リストビュー画面にカスタムボタンを設定し、
比較ページへ遷移させるためにオブジェクト共通設定１-４を実施してください。
※標準オブジェクト、カスタムオブジェクト共に、設定方法は同一。

はじめに、比較ページに表示する項目セットを作成する為に、下記手順を実施してください。

１．オブジェクトに項目セットを作成する。

【手順】

[設定] -> [オブジェクトマネージャ] -> [任意のオブジェクト] -> [項目セット]

▼

(必須) １．デフォルト用の項目セット（Default_FieldSet）を作成。
２．項目セットに、項目を追加する。

必要に応じてプロファイルごとに比較項目対象を指定できる。
※カスタム設定で作成した名前を使用する。
※各プロファイルごとに項目セットは１つ
※プロファイルごとの項目セット未作成の場合、デフォルト項目セットが適用される。

デフォルトの名称
Default_FieldSet
は固定

項目名は任意で設定。
手順２で使用する。

設定方法（オブジェクト共通設定②）

次に、レコードを選択して項目比較用ページに遷移する為のリストビューボタンを作成します。
ボタンから呼び出されるVisualforceページを作成する為に、下記手順を実施してください。

1．エントリーページ(Visualforceページ)を作成します。

【手順】

[設定] -> [カスタムコード] -> [Visualforceページ]

▼

各オブジェクトごとのVisualforceページを作成する。
Visualforceページのコードは次ページのコード参照して Copy & Paste する。

設定方法（Page Copy & Paste用）

```
<!-- リストビューボタン配置コピー用 Visualforceページ 雛形 -->
<!-- sObject_APIName：sObjectAPI Name -->

<!-- ① standardController にオブジェクトAPI名 を設定する。 -->
<apex:page standardController="Account" recordSetvar="recs" sidebar="false">
    <apex:image url="{!$Resource.FieldDiff__FC_Loading}" style="width: 60px; position: absolute; top: 50%; left: 50%;
transform: translate(-50%,-50%);"/>
    <script type="text/javascript">
        var sessionId = '{!GETSESSIONID()}';

        <script type="text/javascript" src="/soap/ajax/59.0/connection.js"></script>
        <script type="text/javascript" src="/soap/ajax/59.0/apex.js"></script>
        <script type="text/javascript">
            var ids = "<apex:repeat value="{!selected}" var="s">{!s.Id},</apex:repeat>".slice(0,-1).split(',');
            /* ② &obj= にオブジェクトAPI名 を設定する。 */
            window.location.href="/apex/FieldDiff__FC_DynamicComparePage" + "?ids=" + ids + "&obj=" + "Account";
    </script>
</apex:page>
```

①使用するオブジェクトAPI名を設定

②使用するオブジェクトAPI名を設定

13ページで作成した、
Visualforceページのコードに、
上記コードをコピー＆ペーストして上書きする

オブジェクトAPI名
・標準
・カスタム：_cを付与したオブジェクト名称

設定方法（オブジェクト共通設定③）

標準リストビュー画面にボタンを作成する為に下記手順を実施してください。

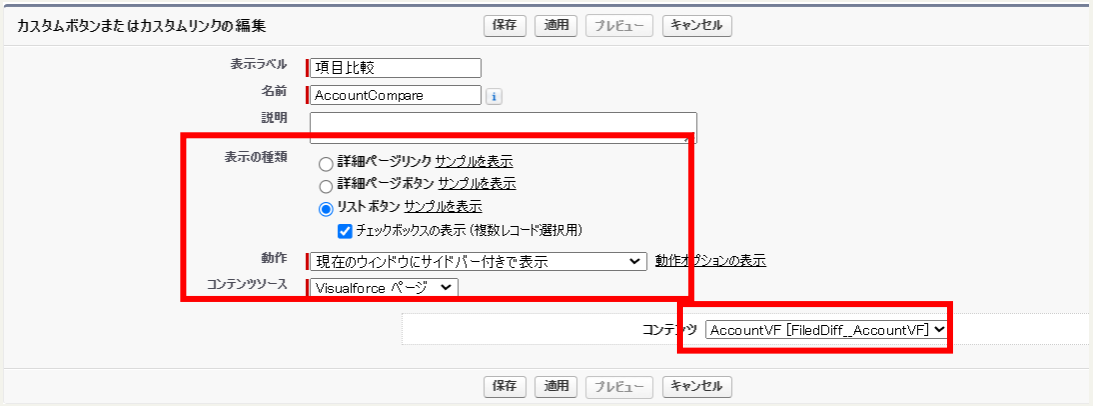
1．リストビューボタンを作成する。

【手順】

[設定] -> [オブジェクトマネージャ] -> [任意のオブジェクト] -> [ボタン、リンク、およびアクション]

▼

[新規ボタンまたはリンク]から作成。
コンテンツ：前ページで作成したVisualforceページを割り当てる。



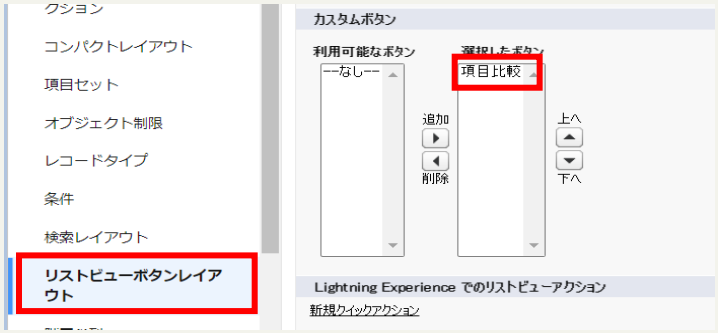
設定方法（オブジェクト共通設定④）

標準リストビュー画面のレイアウトにボタンを追加する為に下記手順実施してください。

1．リストビューボタンレイアウトから、作成したボタンを追加する。

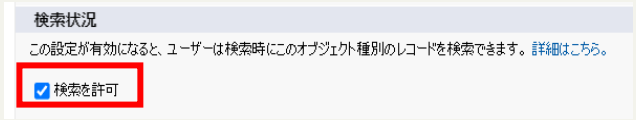
【手順】

[設定] -> [オブジェクトマネージャ] -> [任意のオブジェクト] -> [リストビューボタンレイアウト]



※オブジェクトマネージャで、リストビューボタンレイアウト欄が表示されていない場合、
オブジェクトの詳細から以下を確認して編集してください。

・「検索を許可」にチェック
(チェックが付いていないと表示されません)



③利用方法（サンプルDEMO）

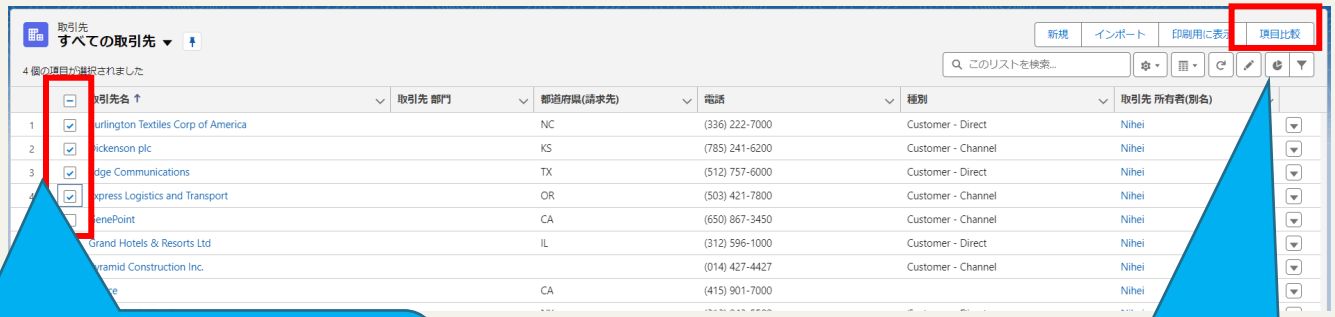
利用方法（サンプル：レコード選択）

※標準オブジェクト(取引先：Account)を例とする。
※カスタムオブジェクトでも同様

標準リストビュー画面から対象のレコードを選択して、リストボタンを押下する。

1．各オブジェクトのリストビューでレコードを選択する。
※Lightningの場合、同じレコードタイプである必要がある。

2．作成したリストビューボタンを押下する。



①比較したいレコードを選択する。

②リストビューボタンで
Field Diffアプリ
を呼び出す。

利用方法（サンプル：項目比較）

比較したい項目を２つ選択して、項目を比較する。

１．同項目を２つ選択する。

・選択した項目は、黄色枠線で囲まれる。
・同じ項目同士の比較（同じ項目を選択）。
・２つ選択状態から、別の値を選択すると連続して比較する。
・項目を１つ選択済み項目を選択すると、選択解除で

①比較したい項目を２つ選択する。
同一項目(行)での比較のみ。



②ブラウザセッション履歴内の１つ前に戻る仕様

２．戻るボタン押下で、リストビュー画面に戻る。

比較結果をリアルタイムで表示する。